

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年2月15日(2007.2.15)

【公開番号】特開2006-166490(P2006-166490A)

【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2006-024

【出願番号】特願2006-34554(P2006-34554)

【国際特許分類】

H 04 M 1/57 (2006.01)

H 04 M 1/2745 (2006.01)

H 04 M 1/64 (2006.01)

【F I】

H 04 M 1/57

H 04 M 1/2745

H 04 M 1/64 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月26日(2006.12.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測手段を備えた通信装置であって、着信に応答しなかった場合には前記呼出時間計測手段により計測された呼出時間の計測結果を表示する一方、該着信に応答した場合には前記呼出時間の計測結果を表示しないようにすることを特徴とする通信装置。

【請求項2】

呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測手段を備えた通信装置であって、着信に応答しなかった場合には前記呼出時間計測手段により計測された呼出時間の計測結果をメモリに記憶する一方、該着信に応答した場合には前記呼出時間の計測結果をメモリに記憶しないようにすることを特徴とする通信装置。

【請求項3】

前記着信に応答したか否かを示す応答情報を表示することを特徴とする請求項1または2に記載の通信装置。

【請求項4】

前記着信に応答しなかった場合には応答しなかったことを示す応答情報を表示し、該着信に応答した場合には応答したことを示す応答情報を表示することを特徴とする請求項1または2に記載の通信装置。

【請求項5】

前記着信により取得された相手の電話番号を前記計測結果とともにメモリに記憶することを特徴とする請求項項1乃至4のいずれか一項に記載の通信装置。

【請求項6】

前記着信により取得された相手の電話番号を表示することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか一項に記載の通信装置。

【請求項7】

前記電話番号に発呼することを特徴とする請求項5または6に記載の通信装置。

【請求項 8】

着信日時を表示することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の通信装置。

【請求項 9】

呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測ステップを含む通信方法であって、着信に応答しなかった場合には前記呼出時間計測ステップにより計測された呼出時間の計測結果を表示する一方、該着信に応答した場合には前記呼出時間の計測結果を表示しないようにすることを特徴とする通信方法。

【請求項 10】

呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測ステップを含む通信方法であって、着信に応答しなかった場合には前記呼出時間計測ステップにより計測された呼出時間の計測結果をメモリに記憶する一方、該着信に応答した場合には前記呼出時間の計測結果をメモリに記憶しないようにすることを特徴とする通信方法。

【請求項 11】

前記着信に応答したか否かを示す応答情報を表示することを特徴とする請求項 9 または 10 に記載の通信方法。

【請求項 12】

前記着信に応答しなかった場合には応答しなかったことを示す応答情報を表示し、該着信に応答した場合には応答したことを示す応答情報を表示することを特徴とする請求項 9 または 10 に記載の通信方法。

【請求項 13】

前記着信により取得された相手の電話番号を前記計測結果とともにメモリに記憶することを特徴とする請求項 9 乃至 12 のいずれか一項に記載の通信方法。

【請求項 14】

前記着信により取得された相手の電話番号を表示することを特徴とする請求項 9 乃至 13 のいずれか一項に記載の通信方法。

【請求項 15】

前記電話番号に発呼することを特徴とする請求項 13 または 14 に記載の通信方法。

【請求項 16】

着信日時を表示することを特徴とする請求項 9 乃至 15 のいずれか一項に記載の通信方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】通信装置及び通信方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

前記の課題を解決するために、請求項 1 記載の発明では、呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測手段を備えた通信装置であって、着信に応答しなかった場合には前記呼出時間計測手段により計測された呼出時間の計測結果を表示する一方、該着信に応答した場合には前記呼出時間の計測結果を表示しないようにすることを特徴とする。

また、請求項 2 記載の発明では、呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測手段を備えた通信装置であって、着信に応答しなかった場合には前記

呼出時間計測手段により計測された呼出時間の計測結果をメモリに記憶する一方、該着信に応答した場合には前記呼出時間の計測結果をメモリに記憶しないようにすることを特徴とする。

また、請求項3記載の発明では、請求項1または請求項2記載の発明において、前記着信に応答したか否かを示す応答情報を表示することを特徴とする。

また、請求項4記載の発明では、請求項1または2に記載の発明において、前記着信に応答しなかった場合には応答しなかったことを示す応答情報を表示し、該着信に応答した場合には応答したことを示す応答情報を表示することを特徴とする。

また、請求項5記載の発明では、請求項1乃至4のいずれか一項に記載の発明において、前記着信により取得された相手の電話番号を前記計測結果とともにメモリに記憶することを特徴とする。

また、請求項6記載の発明では、請求項1乃至5のいずれか一項に記載の発明において、前記着信により取得された相手の電話番号を表示することを特徴とする。

また、請求項7記載の発明では、請求項5または6に記載の発明において、前記電話番号に発呼することを特徴とする。

また、請求項8記載の発明では、請求項1乃至7のいずれかに記載の発明において、着信日時を表示することを特徴とする。

また、請求項9記載の発明では、呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測ステップを含む通信方法であって、着信に応答しなかった場合には前記呼出時間計測ステップにより計測された呼出時間の計測結果を表示する一方、該着信に応答した場合には前記呼出時間の計測結果を表示しないようにすることを特徴とする。

また、請求項10記載の発明では、呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測ステップを含む通信方法であって、着信に応答しなかった場合には前記呼出時間計測ステップにより計測された呼出時間の計測結果をメモリに記憶する一方、該着信に応答した場合には前記呼出時間の計測結果をメモリに記憶しないようにすることを特徴とする。

また、請求項11記載の発明では、請求項9または10に記載の発明において、前記着信に応答したか否かを示す応答情報を表示することを特徴とする。

また、請求項12記載の発明では、請求項9または10に記載の発明において、前記着信に応答しなかった場合には応答しなかったことを示す応答情報を表示し、該着信に応答した場合には応答したことを示す応答情報を表示することを特徴とする。

また、請求項13記載の発明では、請求項9乃至12のいずれか一項に記載の発明において、前記着信により取得された相手の電話番号を前記計測結果とともにメモリに記憶することを特徴とする。

また、請求項14記載の発明では、請求項9乃至13のいずれか一項に記載の発明において、前記着信により取得された相手の電話番号を表示することを特徴とする。

また、請求項15記載の発明では、請求項13または14に記載の発明において、前記電話番号に発呼することを特徴とする。

また、請求項16記載の発明では、請求項9乃至15のいずれか一項に記載の発明において、着信日時を表示することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明によれば、呼出信号を受信してから呼出中止までの呼出時間を計測する呼出時間計測手段を備えた通信装置であって、着信に応答しなかった場合には呼出時間計測手段により計測された呼出時間の計測結果を表示する一方、着信に応答した場合には呼出時間の計測結果を表示しない（記憶しない）ようにするので、複数の着信が記憶されている着信

履歴の中から応答していない着信を容易に見分けられるようにすることができる。